

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 (仮称)福知山市総合防災センター

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		基本設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.7
Q1 室内環境			0.40					3.3
1 音環境		3.4	0.15	-	-	-	-	3.4
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	-	-	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-	
1.2 遮音		5.0	0.40	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能	遮音性能T-2相当サッシ使用(水密W-4 気密A-4)	5.0	0.60	3.0	-	-	-	
2 界壁遮音性能	LGS65トリクリア10、グラスウール充填、GB-R12.5両面ダブル 使用	5.0	0.40	3.0	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	-	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-	-	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	-	-	
1 室温設定		3.0	0.38	3.0	-	-	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-	-	-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	3.0	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	-	-	
7 待機が空調に対する配慮		-	-	-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	-	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-	-	-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	-	-	
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	-	-	
1 照度		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 照度均斉性		-	-	-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	-	-	
4 空気環境		4.3	0.25	-	-	-	-	4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質	内装建材にF☆☆☆☆以上を使用	5.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 アズベスト対策		-	-	-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	-	-	
4.2 換気		4.0	0.30	-	-	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	-	-	
2 自然換気性能	居室床面積の1/15以上の換気有効開口確保	4.0	0.33	3.0	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮	給気及び排気専用のダクトにより区分をしている	5.0	0.33	3.0	-	-	-	
4 換気計画		-	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	-	-	3.7
1 機能性		3.6	0.40	-	-	-	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.57	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-	-	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー-新法の建築物移動等円滑化基準を満足	4.0	0.33	3.0	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.43	-	-	-	-	
1 広さ感・景観	天井高2.8m	4.0	0.33	3.0	-	-	-	
2 リフレッシュスペース	喫煙コーナー+リフレッシュスペース+自動販売機	5.0	0.33	3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	0.33	3.0	-	-	-	
1.3 維持管理		-	-	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.9	0.31	-	-	-	-	3.9
2.1 耐震・免震		4.6	0.48	-	-	-	-	
1 耐震性	法で定められた50%増の耐震性を有する	5.0	0.80	-	-	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.33	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	鉄骨及びコンクリートの評価基準 等級2相当	4.0	0.23	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	-	-	

2.3 適切な更新							
2.4 信頼性			3.8	0.19			
1	空調・換気設備	空調、換気設備の重要度に応じて系統区分し災害時の優先運転	5.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	災害時下水道が機能しないことを想定し汚水の一時的貯留機能	5.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.5	0.29			3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31			
1	階高のゆとり	4.2m、4.6m	5.0	0.60	3.0		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.2	4.0	0.40	3.0		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0		
3.3 設備の更新性			3.2	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性	更新用スペースを確保し更新修繕が容易に可能。	5.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			4.4
1 生物環境の保全と創出		敷地緑化など評価ポイント11	4.0	0.30			4.0
2 まちなみ・景観への配慮		建物の外観が周辺環境に調和など評価ポイント5	5.0	0.40			5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30			4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	防犯上への配慮など評価ポイント4	4.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	空地率86%はじめ表7kポイント12	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.3
LR1 エネルギー			-	0.40			3.4
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30			3.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20			3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルの設置	4.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		ERR=10	4.1	0.30			4.1
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.3
1 水資源保護			3.0	0.15			3.0
1.1	節水		3.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63			3.4
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	乾式のため躯体と仕上の分別可能、再利用できるパーティションを使	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22			3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32			
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68			
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33			
2	断熱材		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2が一般的な建物と同等	3.6	0.33			3.6
2 地域環境への配慮			3.5	0.33			3.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善	夏期の卓越風向が建物の見付け面積を低減、後退距離・隣棟間	4.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			